

校長室
だよ！

おみっ子

通信

令和5年11月30日
麻績小学校
No. 9



思い合いの心でみんなが笑顔！

スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、…など、秋にもいろいろありますが、11月2日には毎年恒例の「校内マラソン大会」が行われ、学年ごとに設定された距離をがんばって走りぬきました。これからだんだん寒くなっていきますが、健康第一、体力向上を意識して、子どもたちが元気いっぱい活動できる学校づくりに取り組んでまいります。

なかよし月間 ～互いの「らしさ」を大切に～

11月は、「自分らしさ・あの子らしさを知って、おたがいの『ちがい』を大切にしよう」を全校のテーマとして、人権教育に力を入れて取り組みました。



全校で学年まざって楽しく活動



虹のかけらが集まって大きな虹に



校長による絵本の読み語り

子どもたちが中心になって取り組んだ活動として「なかよし集会」と「らしさのにじ」があります。「なかよし集会」では、互いの学年の違いを乗り越え、一緒に協力したり、交流を深めたりする姿が見られました。「らしさのにじ」では、互いの良さやらしさを七色のカードに書いて伝え合い、カードを貼り合わせて大きな虹を作っています。給食の時に何人かのカードが発表され、書いてくれた子も、書いてもらった子もみんな嬉しそうです。

校長も、集会の中でテーマに関係のある内容の絵本「りつとにじのたね」の読み語りをしました。絵本の中にあつた「ぼくはぼくのままがいいんだ」「ちがうってすてきでしょ」などの言葉が本音で言える学校を職員と子どもたちと力を合わせて目指していきたいと思ひます。



「男の子は〇〇が好き」って本当？



友からのメッセージを読む



うさぎさんの気持ちを考えよう



わけへだてのない行動とは？

参観日には、人権に関する授業を参観していただきました。各学年の子どもの実態に応じて、「〇〇らしさ」について改めて見つめなおしたり、友だちの良いところを探して伝え合ったり、資料をもとに登場人物の気持ちを考えたりしました。どの学年でも子どもたちが自分の頭と心を使って考えたり悩んだりしている姿がありました。

職員は、中信教育事務所生涯学習課の指導主事を招いて「LGBTQ」についての研修会を行いました。私たち学校職員も、常に人権感覚を磨くため、新しい知識を吸収し、学び続けています。

長野県視聴覚放送情報教育研究大会

11月9日には、本校を会場校として標記の研究大会が行われました。当日は県下各地の学校より、多くの先生方が来校し、5年生の社会科の授業を参観しました。5年生は、いつものようにタブレットを使用して、課題を解決するための情報を集めて整理したり、自分の考えをまとめたり、さらにはそれらをクラウド上で共有したりして学ぶ姿を見せてくれました。

参会者の先生方や指導者の佐藤准教授（信州大学）からは、5年生の姿や本校の取り組みについて「先生の指示が少なく子どもが主体的に学んでいる」「情報機器の活用が授業のあり方を変えつつある」などと、高く評価していただきました。



たくさんの先生方が参観しました

給食週間 ～マナーの見直しと感謝の心～



給食レンジャー参上！



おいしい給食をいつもありがとう



塚原村長さんもお招待

決められた時間の中で食べ終わるために「いただきました」の前の5分間は静かにする、というルールが最近おそろかになっていました。そこで児童会の給食委員が立ち上がり、レンジャーとなって呼びかけをしました。レンジャーが見回ると、みんな「シー」となります。

また、週間中には、村役場の方と食材を提供してくださる生産者の方を招待して給食と一緒に食べていただいたり、給食の先生方へ感謝のメッセージを送ったりしました。

体験入学 ～6年生は中学校へ 来入児は小学校へ～

2学期もあと1か月となり、来年度から新しい学びの場へ進む麻績村の子どもたちが、それぞれの場所での体験学習に臨みました。

3日間、筑北中学校で生活した6年生は、中学校の先生から英語や数学などを教えていただいたり、中学生と一緒に様々な活動をしたりして、中学校生活を体験することができました。

来年度、小学校へ入学してくる子どもたちは、小学校へ来て、5年生にタブレットの使い方を教えてもらったり、1年生が用意したゲームなどで楽しんだりしました。

最初は不安がっていた6年生と来入児も、少し安心したり、楽しみになったりしていると思います。今後も、保小中の連携をさらに密にして、新しい世界へ羽ばたこうとしている子どもたちを応援していきます。



中学校の先生の授業を受ける



中学生と一緒にボール運動



来入児にタブレットを教えてあげる 楽しんでもらえるように作ったよ

